

デジタル社会を迎える香川の課題

香川経済同友会 代表幹事 合田耕三

2021年5月11日

香川経済同友会の提言

令和3年2月18日

「行政のデジタル化とその基盤となる マイナンバーカードの普及に向けて」

コロナ禍で露呈した行政デジタル化の課題

行政デジタル化の基盤であるマイナンバーカードの普及低迷

行政にとってデジタル化する意味

急激な人口減少により行政体自身が人手不足・予算不足

住民の減少・生産労働人口の急激な減少

役所の人手不足・予算不足

行政サービスの低下



提言 1 行政デジタル化の推進

▶ デジタルガバメント実行計画の早期着手

今後5年間の工程表を作る（明確な目標が大事）

順序をはっきりさせる、組織を作る

▶ CDO（Chief Digital Officer）最高デジタル責任者の設置

ナンバー2（相当）に当たる人が成るのが望ましい

政策立案・予算・人事権を持つ人

▶ 市民目線での行政デジタル化の推進

わかりやすい、使って便利を体験、普及しやすいものから

教育・医療・防災・交通・その他

行政の生産効率をアップ

高松市スーパーシティ構想への挑戦

提言2 マイナンバーカード交付率日本一の実現

▶ マイナンバーカードの利用機会創出

引っ越しの際の住所変更の手続きが一度に済ませる
健康保険証、運転免許証との一体化

▶ 独自の普及促進策を実施

▶ マイナンバーカードに対する誤解の払拭

本人の了解無くして勝手に個人情報を使えないことの周知
セキュリティに対する十分な説明

▶ 交付の円滑化

行政デジタル化へ向けて

働き方の問題

- ▶ 年功序列の人事制度



- ▶ テレワーク・リモートワークの定着（ワーケーション）
- ▶ ジョブ型の働き方を定着

人の問題

- ▶ 若い人が年長の人を指導する
- ▶ わかる人がわからない人を指導するシステム



- ▶ デジタルスキルを見える化・標準化する
- ▶ デジタルの勉強会を定期的開催

デジタル社会の実現で得られるもの

快適で豊かな暮らしの実現

- ▶ シンプルな行政手続き
- ▶ 自動運転
- ▶ キャッシュレス
- ▶ 遠隔医療
- ▶ リモート教育
- ▶ 素早い災害対応

便利・安心・共生

- ▶ お年寄りが安心して暮らせる
- ▶ 子供の教育が充実している
- ▶ 夫婦共働きがしやすい
- ▶ 楽々買い物
- ▶ いつでもどこでもヘルスケア